

あがこん通信

特別号

特別号 平成23年1月1日発行
 発行/あがた善彦後援会懇話会
 〒806-0044 北九州市八幡西区相生町9番1号
 TEL 093-631-3261 FAX 093-631-3299
 発行責任者/池田節夫
 あがた善彦後援会ホームページ
<http://agata-y.jp>

何をなすべきか

—政令市の県議会議員として—

政令市の予算は市議会で議決され、市の行政は独立した形で執行されます。しかしながら市単独で実現できることには限界があるため、独自性を発揮しつつ、さらに県政や国政との調和が要求されます。

幸い私たちの住む北九州市は、日本に、そして世界に誇れる多くの財産を持っています。

第一に環境都市である



よし ひこ
あがた善彦

地域と 共に動く!!

政令市選出の県議会議員の役割は非常に複雑ですが、まさにこの部分に資することが最も重

要で、市の意向をしつかり把握し、県政に反映させることであると考えます。

こと。北九州市には先輩たちが官民一体となって汚染された海や空を見事によみがえらせた歴史

があります。私たちは忘れてがちですが、このことは人類史上稀にみる快挙であり、世界中で環境問題に携わる人々に大きな示唆を与え、高く評価されています。

第二に都市インフラが充実していること。都市高速をはじめとする道路網・学術研究都市・若松大水深港とコンテナヤード・新北九州空港など、先輩たちが他の都市に先駆けて整備を推進した結果、これらの都市インフラは陸・海・空を網羅しており、先進都市として大きな財産になっています。

第三に北九州市民の人間力。相対に高齢化が進んでいるものの、勤勉で高い技術力を持つ人材が豊富です。「モノづく

り」の街において優秀な人材は重要な資源です。しかし、このような財産は活用してこそ価値が生まれます。都市インフラを生かし、積極的に企業誘致を行う。同時に高い技術力と人材を生かして海外進出を図る。北九州市を発展させるには、このように戦略的視野に立った経済振興を強力に推進しなければなりません。なぜなら、経済の裏付けがなくては、雇用・教育・福祉いずれの政策も実現不可能なのです。人にやさしく、住みやすい街づくりも、財源が確保されなければ「絵に描いた餅」にすぎません。

我が国の今後の成長を考えると、アジアに向けた新しい成長拠点の形成は不可欠です。その拠点として最も優れた条件を備えているのは福岡県に他なりません。福岡県では今「福岡・アジア国際戦略特区」の構想を推進しようとしています。国とアジア諸国に働きかけ、この構想を実現するためには、これまで以上に広域行政で対応して行くことが必要です。

あがた善彦は真剣にこれに取り組み、北九州市選出の県議会議員として、全力で働きます。



北九州空港